

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	牛久市こども発達支援センターのぞみ園		
○保護者評価実施期間	2025年1月7日		2025年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	150	(回答者数) 68
○従業者評価実施期間	2025年1月7日		2025年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・全職員が有資格者であり、専門性が高い	・職員間の連携・ミーティングの実施・研修会への参加・アセスメントを実施している。	・内部・外部研修への参加、専門的知識の学びを深め、参加者は伝達をして知識の共有化を図っていく。
2	・他機関との連携を密にとっている	・保健センターや教育委員会との連携を行っている。 ・幼稚園・保育園・小学校との連携を行っている。	・幼稚園・保育園への訪問をさらに充実させていく。 ・小学校への移行にも力を入れていく。
3	・親子通園のため、保護者支援ができる。	・ペアレントトレーニング・おしゃべり会・勉強会を実施している。 ・相談・面談を実施している。 ・家庭でも実践ができるようなアドバイスをしている。	・きょうだい児支援 ・外国籍の方に向けた対応の充実

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・就学後の移行支援を行ってきたが、さらに充実が必要。	・小学校との引き継ぎの日程調整が、難しかった。	・きぼうの広場や、教育委員会との連携をさらに強化していく。
2	・牛久市全体の支援が必要なお子さんへの支援の充実。	・牛久市全体の支援が必要なケースを把握しきれていなかった。 ・アウトリーチできていない。 ・交通手段がなく通えない方がいる。	・地域の民生委員・主任児童員のみならず、支援が必要なケースや支援への繋げ方などのお話をさせてもらう機会をつくっていく。
3	・専門性に欠けている部分がある。	・医療、リハビリとのつながりが弱い。	・医療機関との直接的なつながり、PT、ST、OTの必要性の検討。